

# ハザードマップで見る船舶事故の状況

～北海道沿岸における事故とリスクと安全情報～

The screenshot displays the JTSB Hazard Map interface. The main map shows Japan with various colored markers indicating accident hotspots. A detailed incident report is shown for a collision in Kushiro, Hokkaido, on April 15, 2008. The report describes a collision between a fishing vessel and a small boat, resulting in the death of a crew member. A smaller inset map shows the specific location of the accident near Kushiro. The interface includes search filters for accident type, date, and vessel type, and a sidebar with navigation options.

船舶事故調査報告書

JTSB 運輸安全委員会  
Japan Transport Safety Board

平成26年4月



運輸安全委員会事務局函館事務所

## 目 次

●はじめに	1
●船舶事故ハザードマップとは	1
●函館事務所管轄内で発生した船舶事故等の状況	2
●船舶間衝突事故の状況	3
●死傷等事故の状況	3
●単独衝突事故の状況	4
●転覆事故の状況	4
●乗揚事故の状況	5
●火災事故の状況	5
●ハザード情報	6～7
●まとめ ～船舶事故ハザードマップの活用について～	8

## はじめに

運輸安全委員会では、船舶交通の安全向上のため、船舶事故等（船舶事故及びインシデント※1）の内容や教訓、航行予定海域のリスク等について、知りたい時にいつでも Web 上の地図で確認できるインターネットサービス「船舶事故ハザードマップ」の運用を開始いたしました。

運輸安全委員会事務局函館事務所では、どのような船舶事故が、どの海域で発生したのか、船舶事故ハザードマップを利用して振り返ってみたいと思います。

皆様の船舶事故に関する関心が一層深められ、船舶事故の再発防止に寄与できれば幸いです。

※1 「インシデント」とは、事故の兆候であり、事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

## 船舶事故ハザードマップとは

### 船舶事故ハザードマップ ～地図から探せる事故とリスクと安全情報～

船舶事故ハザードマップは、身近なところで発生した船舶事故情報などを検索して航行予定海域のリスクの確認を行い、また、事故多発海域等の情報を事故防止対策の資料として利用していただくために運輸安全委員会が平成25年から運用を開始したインターネットサービスです。

#### 船舶事故ハザードマップの目的

- 予定航路、操業場所等でのリスクを容易に確認できるようにする。
- 操船・操業時等に注意すべき事項を提示する。
- 船舶事故等調査報告書の検索を容易にし、報告書の活用を促進する。



運輸安全委員会のホームページ  
(<http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>)



船舶事故ハザードマップでは、利用者自らがパソコンからインターネットを介し、海域、事故等種類、船舶種類等で検索することにより、利用者に関心を持つ海域において、どのような事故があったか、当該海域にはどのようなリスクが存在するか等を知ることができます。

## 函館事務所管轄内で発生した船舶事故等の状況

運輸安全委員会では、函館事務所管轄内で発生した船舶事故等について、平成20年10月から平成25年12月末までに343件の船舶事故等調査報告書を公表しました。

船舶事故ハザードマップには、公表した343件の船舶事故等調査報告書のうち、311件※2の発生場所が表示されます（平成25年12月末現在）。

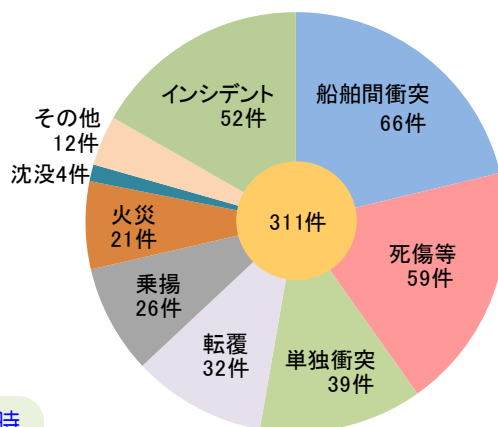
※2 発生場所が不明な船舶事故等は船舶事故ハザードマップに表示されません。また、船舶事故等調査報告書が公表されると、当該報告書の情報が船舶事故ハザードマップに順次登録されます。

The screenshot shows the JTSB hazard map interface. On the left, there are icons for accident types: 衝突 (Collision) with 重大 (Major) and 調査中 (Under Investigation) markers; 乗揚等 (Lifting, etc.) with 重大 (Major) and 調査中 (Under Investigation) markers; 転覆・沈没等 (Capsizing/Sinking, etc.) with 重大 (Major) and 調査中 (Under Investigation) markers; 火災・爆発 (Fire/Explosion) with 調査中 (Under Investigation) markers; and その他 (Others) with 重大 (Major) and 調査中 (Under Investigation) markers. On the right, a search panel (検索パネル) is visible with fields for location, date, and search criteria. A callout box shows a specific accident: 貨物船A丸と漁船B丸衝突 (Collision of cargo ship A and fishing boat B) on 2013/01/01 00:00, with details: 貨物船A丸は、船長ほか3人が乗り組み…… (Cargo ship A had the captain and 3 others on board……).

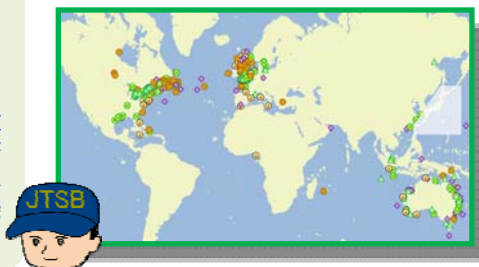
### 事故等種類別の状況

船舶事故ハザードマップに表示される311件の船舶事故等を事故等種類別にみると、船舶間衝突事故が66件、死傷等事故※3が59件、インシデントが52件、単独衝突事故が39件、転覆事故が32件、乗揚事故が26件、火災事故が21件、沈没事故が4件、その他の事故が12件となっています。

※3 「死傷等事故」とは、乗組員等が落水や漁ろう機械に巻き込まれたことなどにより死亡又は負傷した事故をいいます。



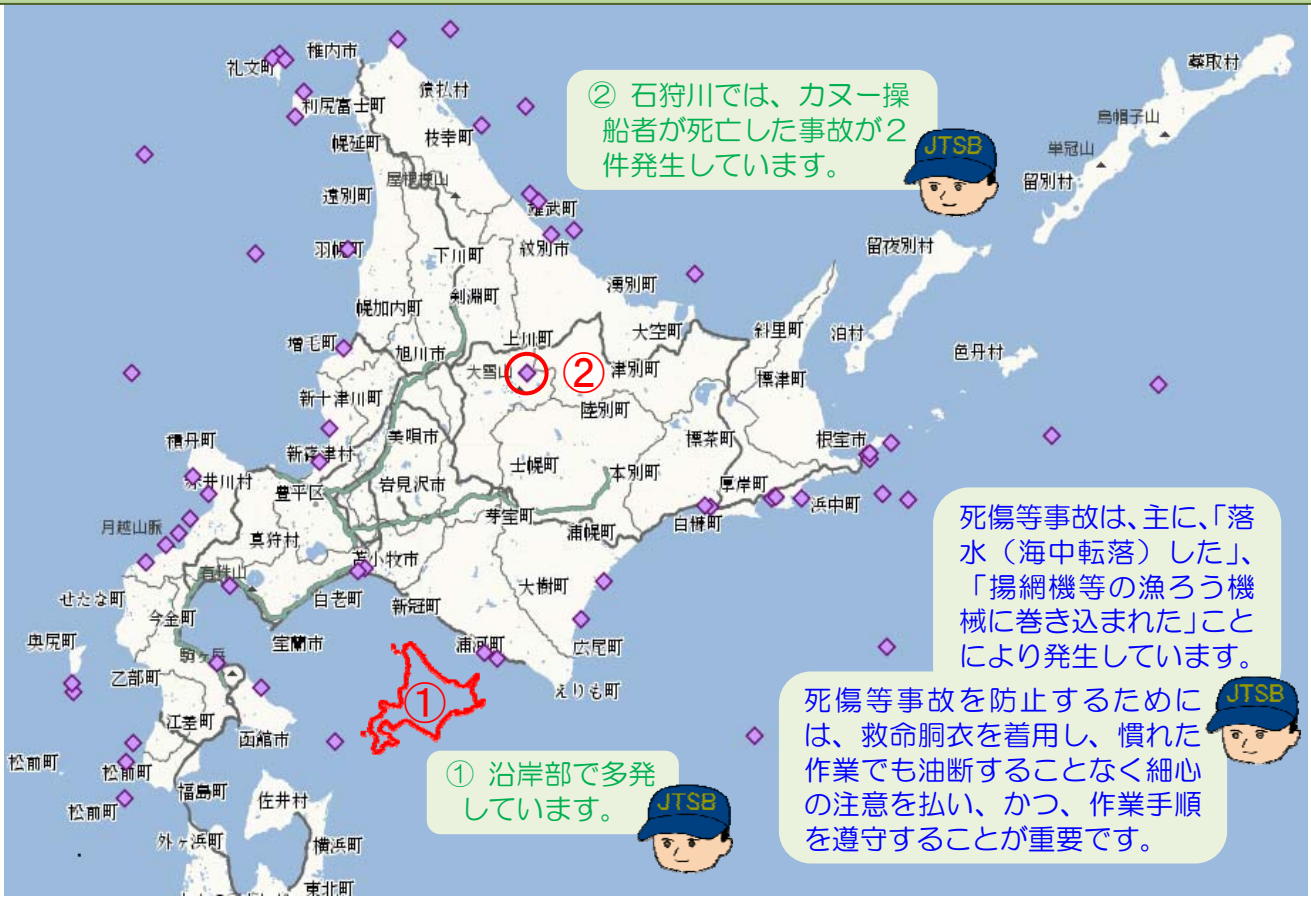
船舶事故ハザードマップでは、検索パネルで発生年月、発生時間帯、公表年、事故等種類、船舶種類、総トン数等を設定することによって事故等を検索し、その結果をマップ上に表示することができます。また、検索範囲の指定、事故情報表示の切り替え、距離計測、作図の機能も備えています。さらに、外国人船員に対する安全教育や外国船への情報提供を目的とした英語版船舶事故ハザードマップや、検索パネルで世界地図を選択することで、他国が作成した事故等調査報告書を閲覧できる機能を備えるなど、グローバル化にも対応しています。



## 船舶間衝突事故の状況



## 死傷等事故の状況



## 単独衝突事故の状況



## 転覆事故の状況



## 乗揚事故の状況



## 火災事故の状況



## ハザード情報

船舶事故ハザードマップには、事故情報を検索する機能のほか、事故が多発している海域での注意事項等を表示する「注意喚起情報」、運輸安全委員会が行った「分析、提言、情報提供」、AISデータを基にした「船舶交通量」、「漁場・漁法」、「委員会設置前に発生した衝突・乗揚事故」等の「ハザード情報」を地図上に重ねて表示する機能があります。

検索パネルで「ハザード情報」を選択し、チェックボックスにチェックを入れることにより、その情報を地図上に表示させることができます。



### 函館事務所管轄内の主なハザード情報

### ○ 注意喚起情報



事故等の原因分析などに基づく、事故等が多発している海域での注意事項を表示することができます。

石狩湾港は、錨泊中に北から西寄りの風が強く吹いた場合、陸岸に向けて走錨する危険性が高いため、注意を促しています。



### ○ 分析、提言、情報提供

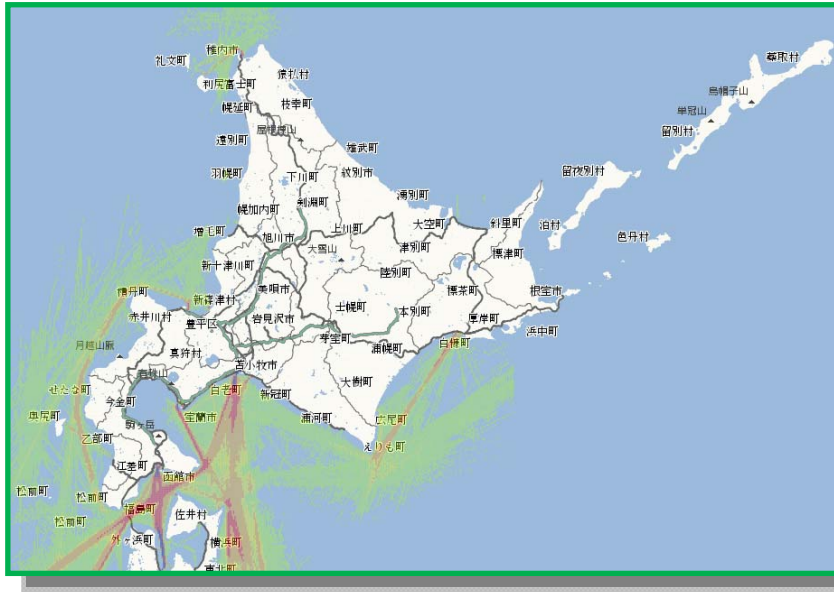
#### 地方事務所



地方事務所の所在地を示し、国土交通大臣、原因関係者に対して行った勧告や意見、また、関係行政機関に対して行った情報提供、さらに、地方事務所が多発事故等をテーマとして再発防止策をまとめた分析集を見ることができます。



函館事務所が刊行した地方版分析集等を閲覧することができます。



○ 交通量 少 多


独立行政法人海上技術安全研究所が、民間通信会社から得た船舶自動識別装置（AIS）の情報に基づき、緯度・経度を1分毎に区切った海域を通過した船舶数を積算して作成した図を表示することができます。

北海道周辺海域における船舶の交通量の状況です。



○ 漁場・漁法  

定置漁業権、区画漁業権、共同漁業権による区画等を表示することができます、また、地方によって特色のある漁法をイラストで紹介しています。

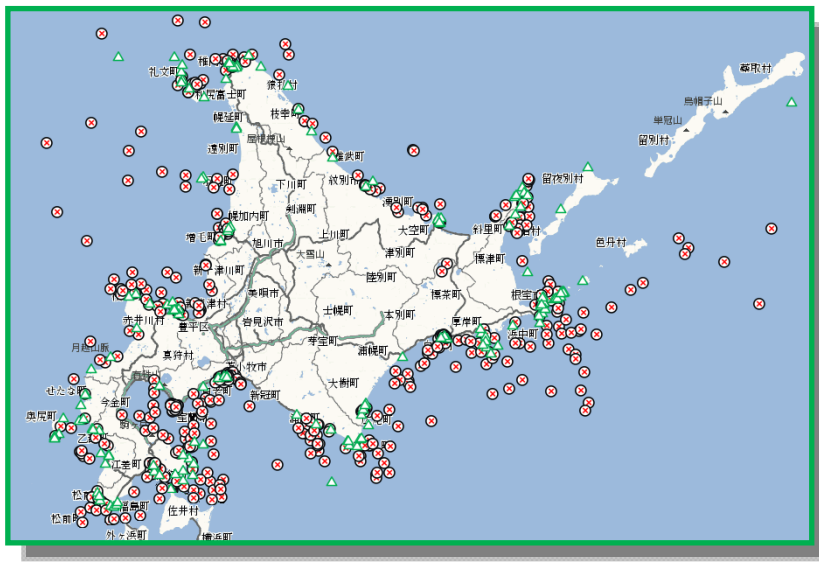
 函館港付近の漁場の状況です。



○ 委員会設置前に発生した衝突・乗揚事故  

旧海難審判庁が平成元年から平成20年までに裁決を行った衝突・乗揚事故の発生場所を表示することができます。

函館事務所管轄内では、約700件の衝突・乗揚事故の発生場所を表示することができます。



 海上保安庁の沿岸域情報提供システム（MICS）や海洋台帳、国土交通省の全国港湾海洋波浪情報網（ナウファス）、気象庁の海上警報等の情報にリンクしていますので、リアルタイムの気象・海象情報も入手することができます。





## まとめ ～船舶事故ハザードマップの活用について～

船舶事故ハザードマップは、どこで、どのような船舶事故等が発生しているのかひとめでわかりますので、例えば、船員に対する安全教育や、プレジャーボートの操船者を対象とした安全講習会等でご活用いただければ、船舶事故等の再発防止につながるものと考えております。

運輸安全委員会では、今後も使い易いページづくりを目指し、さらなる工夫を行っていく予定です。安心安全な航行のため、皆様には是非ご活用いただきたいと思っております。



### ～運輸安全委員会事務局函館事務所～

運輸安全委員会は、航空事故、鉄道事故及び船舶事故並びに重大インシデントの原因を科学的に究明し、公正・中立の立場から事故や重大インシデントの防止と被害の軽減に寄与するための独立した常設機関として、従来の「航空・鉄道事故調査委員会」と「海難審判庁の原因究明部門」を再編し、平成20年10月1日に国土交通省の外局として発足しました。

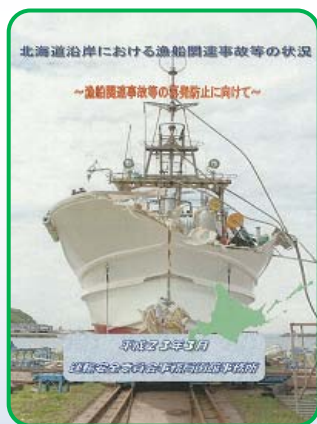
函館事務所は、北海道周辺海域及び津軽海峡等を管轄区域とし、主に船舶事故等の調査を任務としています。

### ～地方版分析集～

函館事務所では、北海道沿岸で発生した船舶事故等の状況を取りまとめた「地方版分析集」を平成23年から刊行しております。

地方版分析集の内容につきましては、函館事務所までお問い合わせいただくか、運輸安全委員会のホームページをご覧ください。

平成23年3月刊行  
北海道沿岸における  
漁船関連事故等の状況



平成24年4月刊行  
北海道沿岸における  
漁船転覆事故の状況



平成25年5月刊行  
北海道沿岸における  
船舶間衝突事故の状況



Japan Transport Safety Board

運輸安全委員会事務局函館事務所

〒040-0061 函館市海岸町24-4

函館港湾合同庁舎4F

TEL 0138-43-4350 Fax 0138-42-1804

URL <http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

